



# 歯のはなし

## 治療が終わっても安心できない!? 「二次的なむし歯」を予防する方法!



むし歯の治療が完了すると「ようやく終わった!」と、ホッとされる方も多いことでしょう。しかし、**治療をした歯でも、再びむし歯になる可能性がある**のです。特に、「これでもう二度とむし歯にならない」と安心しきっている人ほど注意が必要です。そこで今回は、治療した歯が再びむし歯になってしまう『**二次的なむし歯**』についてお話させていただきます。

### 「二次的なむし歯」とは?

治療で金属の被せ物をする、もう二度とむし歯にはならないような感覚があります。しかし、どんなに精密な被せ物でぴったり合わせたとしても、歯と被せ物の間にはわずかなすき間が生まれてしまいます。そのわずかなすき間からむし歯菌が入り込んでしまうと、今度は**被せ物の内部がむし歯になることもある**のです。こうしてできたむし歯を「二次的なむし歯」と呼びます。



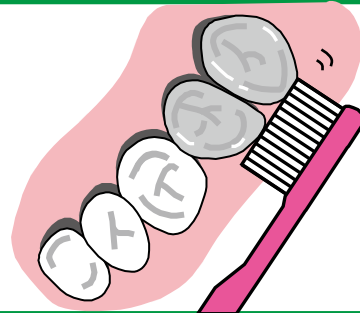
### 二次的なむし歯を発生させないためには?

では、どのようにすれば、二次的なむし歯を予防できるのでしょうか?

**次の3つのポイント**に注目してみましょう。

#### ①みがきにくい部分を意識する

むし歯になった歯というのは、そもそも歯ブラシが届きづらく、みがき残しが多かったりする部分です。つまり「**歯みがきしにくい場所**」になるので、またむし歯になってしまう可能性が高くなります。



“治療した部分こそ丁寧にみがく”を意識しましょう!

#### ②歯科医院での定期健診を習慣化する

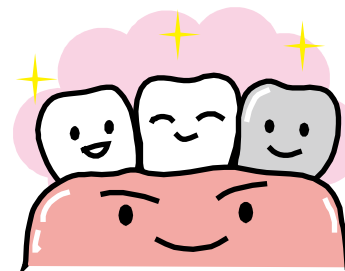
歯の健康を維持するためには、歯科医院での定期健診を受けることも大切です。苦勞して治された方ほど治療が終わると歯科医院に足が遠のきがちですが、痛みが現れてからの治療になれば、また時間もお金もかかってしまいます。



“定期的にプロの目でチェック”してもらい、二次的なむし歯の早期発見、早期治療を心掛けましょう!

#### ③日頃から歯ぐきの健康を保つ

被せ物の出来は、歯ぐきの状態に影響されます。治療の際、歯ぐきに炎症があれば精密な被せ物を作ることはできません。また、歯周病の状態で被せれば症状が悪化することもあります。つまり**“歯ぐきが健康であれば、被せ物の治療も良い状態で行える”**ということです。



歯だけでなく、歯ぐきの健康にも日頃から意識を向けておきましょう!

詰め物や被せ物の治療を行ったとしても、一生その状態で使い続けることはできません。それでも、できるだけ長く使うためには、日々のメンテナンスが大切です。自分のお口の状態を把握している“かかりつけ歯科医”と共に、お口の中の健康維持に努めましょう!